

企画名：個人の被ばく量を特定できるストロンチウム-90 測定

団体名：乳菌保存ネットワーク

1. 報告要旨

乳菌の化学処理は、様々な試行の結果 6～10 試料を同時に実行できるようになり、コロナ禍で移動が不自由なためマンパワーが極めて限られる中で、処理能力自体は目標の年間 250 試料を十分上回るようになった。このこと自体は大きな成果である。2019 年 3 月の測定開始以来通算 268 名の乳菌を測定することができた。しかしながら、今年度は乳菌の集まりが思うようにいかず、測定した試料の数は昨年度より 43 名分増えて 155 名分(再測定を含む)の測定にとどまった(乳菌以外を含めれば 163 試料)。測定を終えた乳菌の提供者には順次結果を通知している。

何より今年度の測定試料の集まりが思うようにできなかった主な原因は、コロナ禍によって当初重点と位置づけた東北への乳菌提供を訴えるキャラバンや、東北の各種団体を訪問し直接乳菌の提供を訴える活動が実現できなかったことにある。そこで、これまであまり十分でなかったネットを利用する努力をした。まず、広報に SNS を利用することとし、Twitter([@meas_strontium](#))、FaceBook([@PDT.Net](#))、Instagram([@pdt2021](#))の発信を心がけた。Twitter のフォロワーはまだ 149 にとどまっているが、発信の内容によっては、インプレッション、エンゲージメントともこれまでにない手応えを感じるがあった。

当初予定した東北各地での集會に替わるものとして、2 度のオンラインイベントを開催した。一度目は初の試みでもあり、主に乳菌保存ネットワークの呼びかけ人に対して広報を行い、約 30 名の参加があった。二度目は Facebook を重点にネットでの呼びかけを行い参加者は 32 名であった。ははの [Youtube チャンネル](#)では、オンラインイベントの記録、化学処理法の解説などを公開している。

また、広く乳菌の提供を呼びかけるために、[乳菌収集の呼びかけに特化したホームページ](#)を新たに開設した。これは乳菌中のストロンチウム 90 測定の意味を平易に伝えることを目的としている。新ホームページは今後も改良を続け、乳菌収集の軸として活用していく。[これまでのホームページ](#)は SNS を始めてからアクセスが伸び、年間 5000 アクセス程度となった。

2. 成果物

1. これまで 590 名分の乳菌が集まり、うちスイスパーゼル研究所の好意で 285 名分が測定された。残りの 305 名分の内、試料の質量が少なく測定ができないものを除き、すべて測定を終了した。今年度収集した乳菌は 75 名分に対して、測定した試料は 155 名分であった。
2. 2020 年度は食品として粉ミルクとリンゴの測定を行った。
3. 測定した乳菌については順次結果を通知している。電話による相談を 1 件行った。
4. 「たらちね」が福島県内 6000 名に対して行ったアンケートに、乳菌収集キットを同梱して頂いた。乳菌収集への効果の正確な評価はできないが、若干の増加はあったと考えられる。
5. 中日新聞岐阜版「[原発事故の影響世に問う 82 歳で死去 松井英介さん](#)」(2020.8.22)
6. 中日新聞「[抜けた乳菌どうする?](#)」(2021.2.12)
7. 協力者向けオンラインミーティング開催 (2020.9.13)
8. 第 1 回オンラインイベント「[乳菌の放射能をはかる](#)」開催 (2021.2.28)